

兵庫県における鳥類の分布と変遷

Bird Distribution and its Historical Change in Hyogo Prefecture

日本野鳥の会兵庫県支部 編集
Edited by Hyogo Branch, Wild Bird Society of Japan

江崎 保男 監修
Supervised by Yasuo Ezaki



兵庫県立人と自然の博物館
自然環境モノグラフ
2号 2006年3月

刊行にあたって

人と自然の博物館が刊行する「自然環境モノグラフ」の第2号ができあがった。このシリーズは、館内外の多くの人々が協力し合って調査研究に努めた成果を取りまとめるモノグラフである。ひとはくでは、博物館の調査研究活動を館内に閉じ込めることなく、館内外の研究者との協働を通じて博物館を核とする調査研究の環を拡大し、博物館を地域の生涯学習機関として育てることを意図している。

シリーズ2冊目の『兵庫県における鳥類の分布と変遷』は日本野鳥の会兵庫県支部の編集による力作である。日本人は古来自然と深くかかわる暮らしを展開し、多様な生き物たちと親しい関係を維持してきた。中でも、鳥と日本人のつきあいには緊密な関係が続いてきた。環境 NGO 最大手の日本野鳥の会は専門の研究者もそうでない鳥類愛好者も協力して鳥について学習し、鳥と語り合う組織であると聞いている。日本列島の鳥類の多様な生活を明らかにするのに、日本野鳥の会が大きな貢献をされていることは自他ともに許す現実である。そのことは、兵庫県の鳥類についてもそのまま当てはまることである。

鳥類の調査研究については、兵庫県はこれまでもすぐれた業績を上げてきた。本冊子の刊行は、その成果にさらに上積みする資料を公にするものである。これは、単に兵庫県の鳥類の分布とその由来を明らかにするというだけでなく、日本列島の、さらには地球の自然の実態を解明する有用な基礎資料を提供するものであることを認識したい。この資料が有効に活用されることを期待する。

本書のとりまとめに貢献された奥野俊博氏をはじめ、調査研究に協力された日本野鳥の会兵庫県支部の方々、その他多くの協力者の皆さんに、この場を借りてお礼を申し上げる。

平成18年3月

兵庫県立人と自然の博物館 館長

岩 槻 邦 男

監修にあたって

兵庫県は古くより自然史研究のさかんな地である。現在も、各地に自然史研究のグループが存在し、それぞれ貴重な情報を蓄積している。わけても鳥類に関しては、著名な在野の研究者を輩出した地であり、今も県の各地で地域の野鳥の会が活動している。これらの会員あるいは、これらに属さないバードウォッチャーたちは、貴重な時間をつぎこんで日夜、鳥の観察をおこない、過去から現在にいたる記録を各自で所有している。

これらの信頼できる情報を一同に集めれば、全県的な鳥類の生息分布を把握できるばかりか、その歴史的な変化を把握することが可能であろうことは、以前よりわかっていたことである。しかし、この夢の実現にはしばしの時を待たねばならなかった。

本書は、全県組織である日本野鳥の会兵庫県支部が、上記の鳥類研究者の夢をかなえるべく膨大な努力をされた結果えられた珠玉の作品である。ページを開いていただければおわかりいただけるように、そこには、野鳥の会会員間、あるいはバードウォッチャー間の「人と人のつながり」が重要な役割を果たした。

本書が、兵庫県のこれからの環境保全の基礎データとして重要なものになるのは間違いない。しかしそれにもまして、この作品が「人と人のつながり」の成果品であることは、今後の自然環境の保全を考える上で、ひとつの重要な方向性を示していると思う。

兵庫県立人と自然の博物館 自然・環境マネジメント研究部長

江崎保男

目 次

| | |
|---------------|----|
| 刊行にあたって | |
| 監修にあたって | |
| 函 版 | |
| はじめに | 1 |
| 分布図目録 | |
| カイツブリ目 | |
| カイツブリ科 | 7 |
| ペリカン目 | |
| ウ科 | 10 |
| コウノトリ目 | |
| サギ科 | 12 |
| コウノトリ科 | 21 |
| カモ目 | |
| カモ科 | 22 |
| タカ目 | |
| タカ科 | 43 |
| ハヤブサ科 | 55 |
| キジ目 | |
| キジ科 | 58 |
| ツル目 | |
| クイナ科 | 61 |
| チドリ目 | |
| タマシギ科 | 65 |
| チドリ科 | 66 |
| シギ科 | 71 |
| カモメ科 | 77 |
| ハト目 | |
| ハト科 | 83 |
| カッコウ目 | |
| カッコウ科 | 85 |
| フクロウ目 | |
| フクロウ科 | 88 |
| ヨタカ目 | |
| ヨタカ科 | 92 |
| アマツバメ目 | |
| アマツバメ科 | 93 |
| ブッポウソウ目 | |
| カワセミ科 | 95 |
| ブッポウソウ科 | 98 |
| キツツキ目 | |
| キツツキ科 | 99 |

| | |
|-----------------------|-----|
| スズメ目 | |
| ヤイロチョウ科 | 104 |
| ヒバリ科 | 105 |
| ツバメ科 | 106 |
| セキレイ科 | 109 |
| サンショウクイ科 | 114 |
| ヒヨドリ科 | 115 |
| モズ科 | 117 |
| レンジャク科 | 119 |
| カワガラス科 | 120 |
| ミソサザイ科 | 121 |
| イワヒバリ科 | 122 |
| ツグミ科 | 123 |
| ウグイス科 | 133 |
| ヒタキ科 | 140 |
| カササギヒタキ科 | 142 |
| エナガ科 | 143 |
| ツリスガラ科 | 144 |
| シジュウカラ科 | 145 |
| ゴジュウカラ科 | 149 |
| キバシリ科 | 150 |
| メジロ科 | 151 |
| ホオジロ科 | 152 |
| アトリ科 | 160 |
| ハタオリドリ科 | 169 |
| ムクドリ科 | 171 |
| カラス科 | 173 |
| 外来種 | |
| キジ科 | 179 |
| ハト科 | 180 |
| チメドリ科 | 181 |
| カエデチョウ科 | 182 |
| ムクドリ科 | 183 |
| あとがき | 184 |
| 付図 | 185 |
| 付表 | 186 |
| 監修者・執筆者・調査協力者一覧 | 187 |
| 兵庫県立人と自然の博物館のデータバンク事業 | |

兵庫県内で繁殖地が極めて限られている種 - 1



YM

イヌワシ *Aquila chrysaetos*

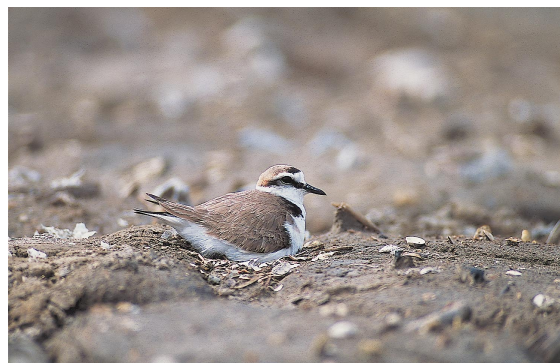


YM



KM

シロチドリ *Charadrius alexandrinus*



営巣

YW



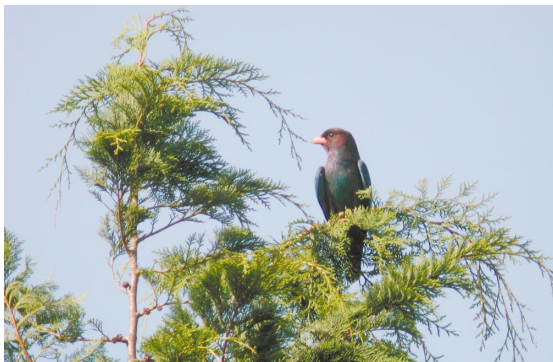
IO

コアジサシ *Sterna albifrons*

営巣コロニー



NK



KI

ブッポウソウ *Eurystomus orientali*



クロサギ *Egretta sacra*

KS

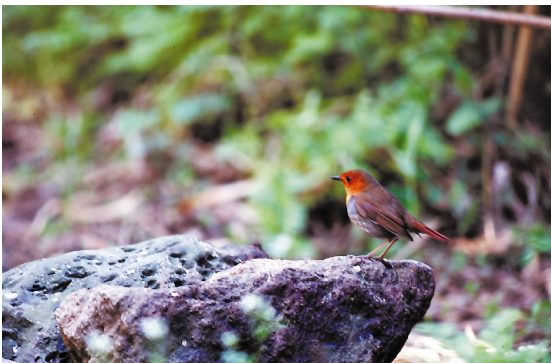
兵庫県内で繁殖地が極めて限られている種－2



KS オシドリ *Aix galericulata*



アジサシ (亜種アカアジアジサシ) KK
(*Sterna hirundo minussensis*)



KS コマドリ *Erithacus akahige*



MK コルリ *Luscinia cyane*



KM カヤクグリ *Prunella rubida*



KM アオジ *Emberiza spodocephala*



KM クロジ *Emberiza variabilis*

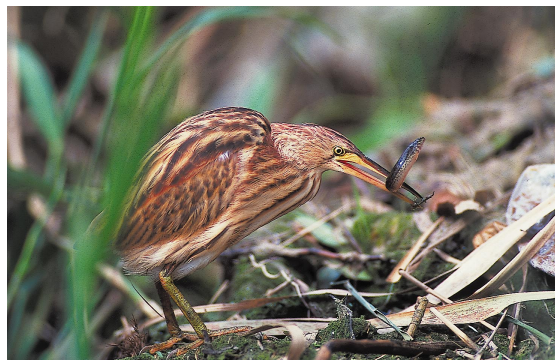


KM ウソ *Pyrrhula pyrrhula*

兵庫県内で繁殖地が減少している種－ 1



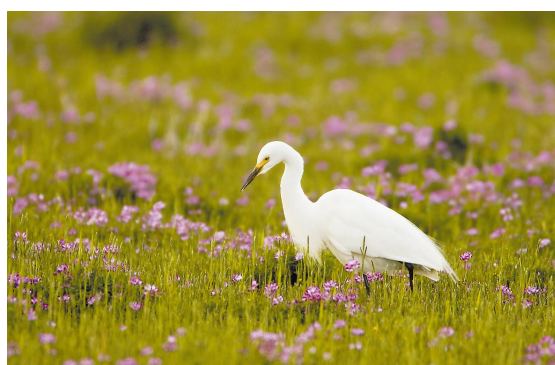
KM カイツブリ *Podiceps ruficollis*



ヨシゴイ *Ixobrychus sinensis* YW



KM ゴイサギ *Nycticorax nycticorax*



チュウサギ *Egretta intermedia* KM



KS ハチクマ *Pernis apivorus*



サシバ *Butastur indicus* YW



KS クマタカ *Spizaetus nipalensis*

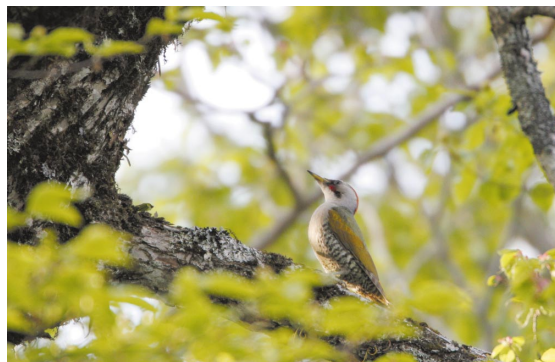


イカルチドリ *Charadrius placidus* YW

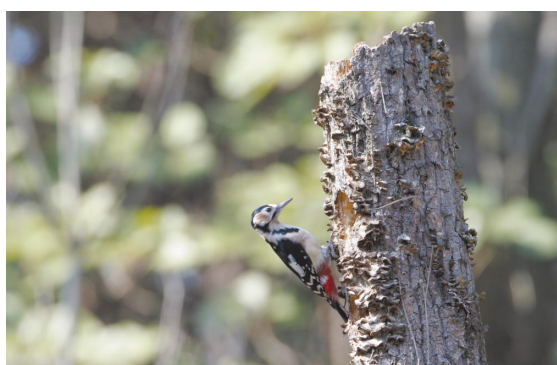
兵庫県内で繁殖地が減少している種－ 2



KM イソシギ *Actitis hypoleucos*



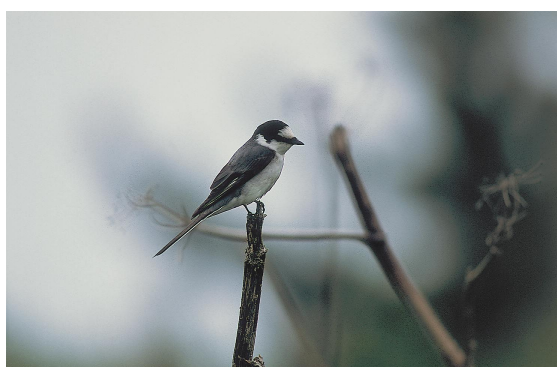
アオゲラ *Picus awokera* KM



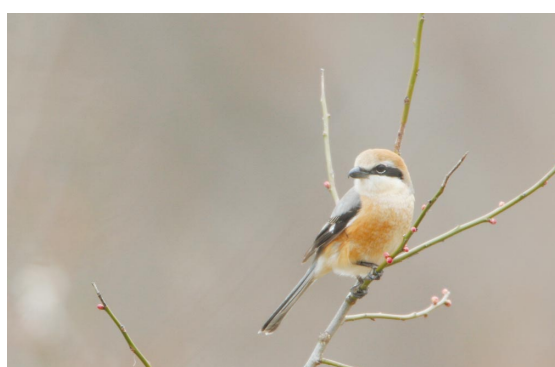
KM アカゲラ *Dendrocopos major*



ヒバリ *Alauda arvensis* YW



KS サンショウクイ *Pericrocotus divaricatus*



モズ *Lanius bucephalus* KM



KM カワガラス *Cinclus pallasii*

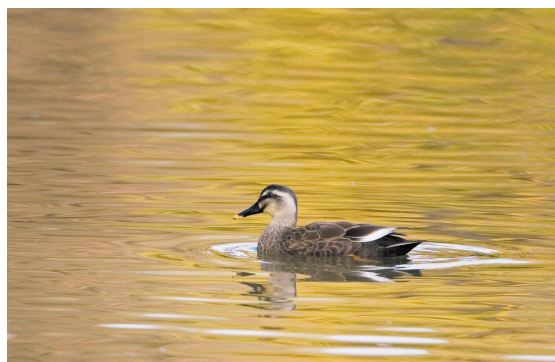


オオヨシキリ *Acrocephalus arundinaceus* KM

兵庫県内に広く分布する種－ 1



KM アオサギ *Ardea cinerea*



カルガモ *Anas poecilorhyncha* KM



KM ノスリ *Buteo buteo*



チョウゲンボウ *Falco tinnunculus* KM



KM ケリ *Vanellus cinereus*



タシギ *Gallinago gallinago* KI

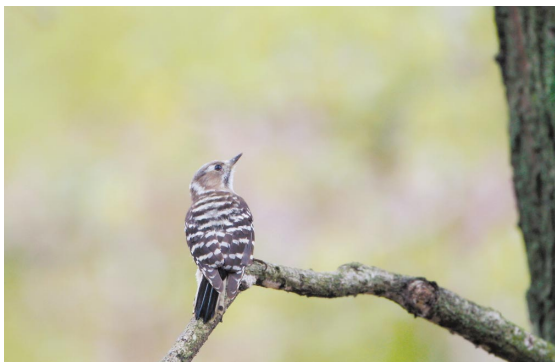


KM キジバト *Streptopelia orientalis*



カワセミ *Alcedo atthis* KM

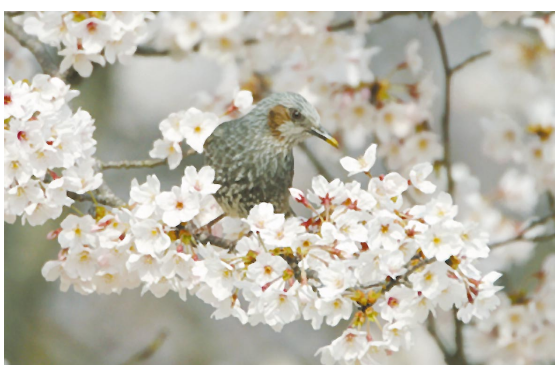
兵庫県内に広く分布する種－ 2



KM コゲラ *Dendrocopos kizuki*



TO ツバメ *Hirundo rustica*



KM ヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis*



KM ウグイス *Cettia diphone*



YW メジロ *Zosterops japonica*



KI ホオジロ *Emberiza cioides*



KM カワラヒワ *Carduelis sinica*



TO ハシブトガラス *Corvus macrorhynchos*

兵庫県内において生息数または生息地が増加傾向にある種



KM カワウ *Phalacrocorax carbo*



オオバン *Fulica atra* TO



KM イワツバメ *Delichon urbica*



ハクセキレイ *Motacilla alba* KM



KM キビタキ *Ficedula narcissina*



クロツグミ *Turdus cardis* KM



MM ソウシチョウ *Leiothrix lutes*



ハッカチョウ *Acridotheres cristatellus* KM